

# くずまき 議会だより

9月定例会議 岩手県葛巻町議会

平成30年10月5日発行

No. 184



29年度決算を認定

住み続けたいまちづくりへ前進

2p

町のお金をどう使った? ~決算関係質疑~

6p

バイパスと国道の連絡道は ~2議員が一般質問~

10p

笑顔のつどい ③⑦



表紙

五日市メッツスポーツ  
少年団の皆さん  
(関連12P)



# 住み続けたい

# まちづくりへ前進

# 医療・福祉・教育施設を充実

## 9月定例会議

9月定例会議は、9月7日から14日までの8日間の日程で行われました。町長から提出された議案は、29年度会計の決算認定のほか30年度補正予算など13件が提出され、すべて全議員の賛成で原案どおり『決定』しました。一般質問では2人の議員が登壇し、町の対応や考えをいただきました。



29年度に開院した新葛巻病院

## 監査委員の意見

29年度決算はすべての会計が黒字です。各種財政指標は堅調であり、財政運営の健全性が維持されています。

景気の回復が地方まで浸透していない中、固定資産税や町民税などの普通税と国保税ともに前年度の徴収率を上回りました。特に国保税の未収金は512万円減少しており、職員の徴収取り組みに対する創意工夫の成果が表れています。今後も

さらなる取り組みに期待します。

町の喫緊の課題である人口減少には、定住住宅の整備を継続するなど具体的な取り組みをしており、移住者の増加など成果が出ています。

近年、医療・福祉・教育の充実に力を入れていることが感じられます。今後は各施設整備に係る起債の償還や施設維持管理経費が発生しますが、引き続き堅実な財政運営を望みます。

## 決算の概要

29年度の全会計の総支出額は、87億4393万円。前年度比1億7878万円、2.1%増加しました。

一般会計の支出額は、72億3177万円。前年度比1億81万円、1.4%の増加です。28年度台風10号豪雨災害の災害復旧事業や新病院建設に対する病院事業会計への繰り出しなどが増額の主な要因です。

3特別会計の支出総額は、15億1216万円。前年度比7797万円、5.4%増加しました。

29年度は新病院の開院、養護老人ホーム葛葉荘の開転、葛巻町学習塾の開

## 財政健全化判断比率は「健全」を維持

「財政健全化法」に基づく29年度の一般会計、特別会計、第3セクターの決算を含めた各指標は、いずれも基準を下回りました。

### ●健全化判断比率

各指標	29年度	28年度	比較
実質赤字比率 (15%)	赤字なし	赤字なし	-
連結実質赤字比率 (20%)	赤字なし	赤字なし	-
実質公債費比率 (25%)	5.4%	5.0%	0.4
将来負担比率 (350%)	なし	なし	-

※各指標の( )内の%は早期健全化の基準で、数値が低いほど健全な財政運営になります。

※将来負担比率は、将来負担見込額が充て可能な財源の額を下回り、比率なしとなりました。



町長に意見書を提出する監査委員

### ●資金不足比率

経営健全化基準は20%で、対象となる農業集落排水事業の資金不足は発生していません。

## 29年度決算状況

会計名	収入	支出	
一般会計	78億7204万円	72億3177万円	
特別会計	国民健康保険事業	13億1138万円	12億4548万円
	農業集落排水事業	2億805万円	1億9718万円
	後期高齢者医療事業	7297万円	6950万円
合計	94億6444万円	87億4393万円	

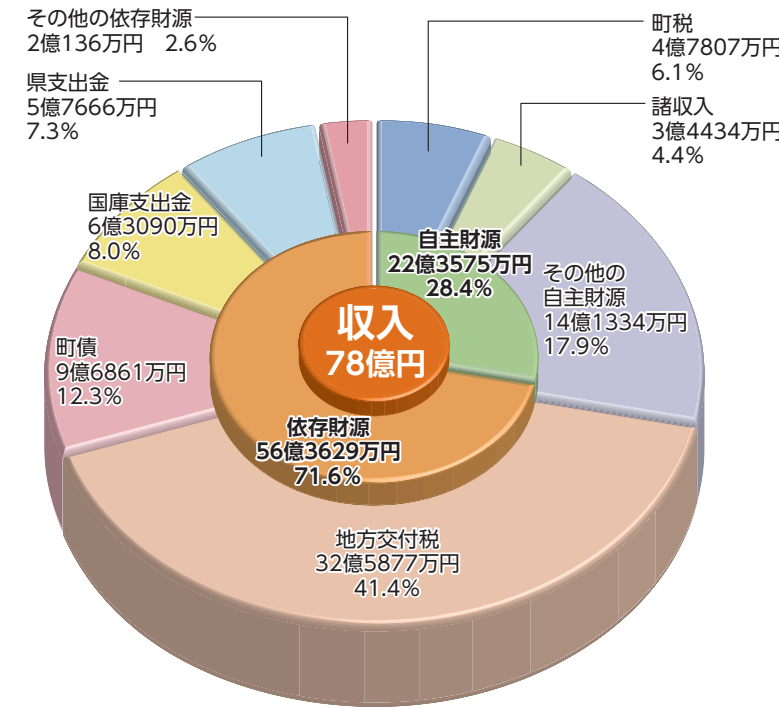
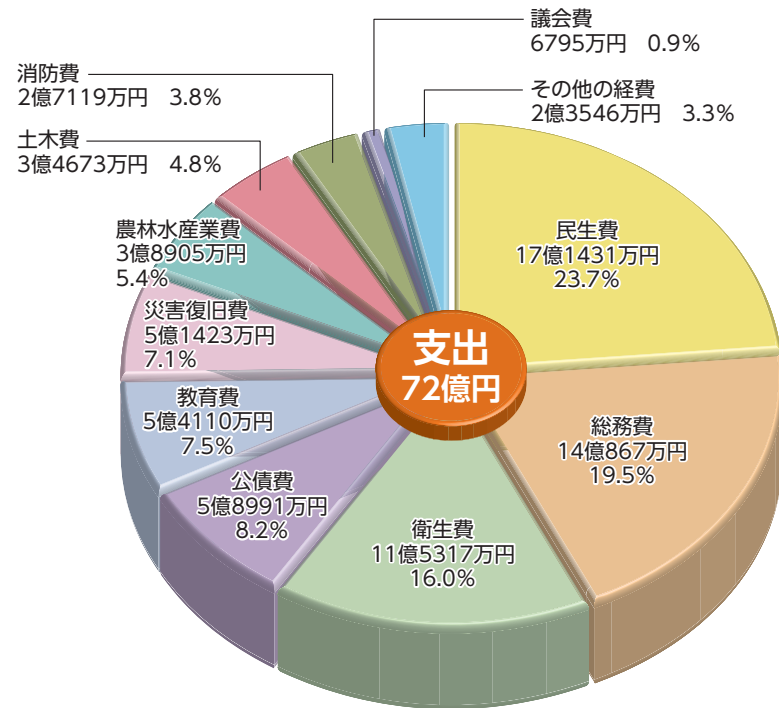
校、小屋瀬小学校校舎改修など安全で安心な住み続けたいまちづくりに向けて、さらに前進した事業が行われました。



# 台風10号復旧工事進む

# 町の貯金57億円に増加

項目	内容
民生費	高齢者や障がい者、保育所運営など社会保障に充てる経費
総務費	町の財産管理や町税の事務などに充てる経費
衛生費	保健・衛生・環境などの業務に充てる経費
公債費	事業のために国などから借りたお金の元利償還金
教育費	小・中学校の運営や社会教育・体育事業に充てる経費
災害復旧費	災害復旧工事などに充てる経費
農林水産業費	農林・畜産業の振興などに充てる経費
土木費	道路・公園・河川などの建設や維持管理に充てる経費
消防費	防災や災害時の活動などに充てる経費
議会費	議会の運営に充てる経費
その他の経費	商工費、労働費、諸支出金、予備費などの経費



項目	内容	
自主財源 〔町で自力で取 入ることができるお金〕	町税	町民税や固定資産税など、町民の皆さんからの税金
	諸収入	町税の延滞金や預金利子など
	その他の自主財源	保育料や、他の収入科目に含まれないお金
依存財源 〔国・県などから、交付 割り当てられるお金〕	地方交付税	町の財政需要の状況により国から配分されるお金
	町債	事業を行うために国や金融機関などから借りるお金
	国庫支出金	事業を行うために国からもらうお金
	県支出金	事業を行うために県からもらうお金
	その他の依存財源	地方消費税交付金、地方譲与税、自動車取得税交付金など

**家計簿に例えると** (29年度一般会計の支出を町民一人当たりになると)

**子供への仕送り**  
78,000円  
繰出金 6.8%

**食費**  
126,000円  
人件費 11.0%

**医療費等**  
89,000円  
扶助費 7.7%

**住宅ローン等**  
94,000円  
公債費 8.2%

**年金掛金 保険料等**  
351,000円  
負担金等 30.5%

**家の増改築等**  
281,000円  
建設事業費 24.4%

**光熱水費等**  
132,000円  
物件費 11.4%

**1,151,000円**  
(30年3月末の人口) 6,279人

28年度より負担金が増えたわ

**収入総額は78億7204万円**で、前年度比5.2割の減少です。歳入全体の約4割を占める地方交付税は32億5877万円、前年度比1億7618万円、5.1割減少しました。町債(借入金)は9億6861万円、養護老人ホーム葛葉荘、江刈小学校校舎改築など大型ハード事業完成により前年度比5億8024万円、37.5割減少しました。

町税は4億7807万円で、町民税などの増により前年度比154万円、0.3割増加しました。

**支出総額は72億3177万円**で、前年度比1億81万円、1.4割の増加です。

災害復旧費は5億1423万円、28年台風10号豪雨災害の復旧事業により前年度比4億1493万円、41.7.9割増加しました。

衛生費は11億5317万円で、新病院建設事業への繰り出しなどにより3億9377万円、51.9割増加しました。

教育費は5億4110万円で、江刈小学校校舎改築事業、教員住宅整備事業の完成により前年度比4億8419万円、47.2割の減少です。

**基金(貯金)** 残高は57億5721万円で、前年度比5億9050万円、11.4割増加しました。

**町債(借入金)** 残高は77億1622万円で、前年度比4億2171万円、5.8割の増加です。



輝くふるさと常任委員会（鈴木満委員長）は、9月12日に各会計の29年度決算の審査を行い、皆さんの税金が効果的かつ適正に使われているか、事業の実施効果はどうだったのか確認しました。  
 主な質疑の内容をお知らせします。

## 一般一計

### 地域協力隊 総務 企画

**問** 地域おこし協力隊が担っている役割は。

**答** 昨年度は5人着任した。くずまき型DMO観光コーディネーターは、町のDMO事業の事務局や、観光パンフレットの作成など観光部門の業務をしている。高校魅力化コーディネーターは、山村留学制度の普及や、留学生のフォローなどを行っている。高原牧場観光プ

### ふるさと納税 総務 企画

**問** ふるさと納税の寄付額の推移と返礼品は。

**答** 昨年度は約2500万円であったが、これはテレビ番組に取り上げられたことにより寄付額が跳ね上がったもの。今後は800万円から1000万円に推移すると思われる。返礼品は町の特産品である牛肉、乳製品、ワインなどを送っており、寄付者からは高評価を得ている。返礼品の金額は、総務省から寄付額の3割以内という目安が示されており、そのルールに従っている。

### 人口減少対策 総務 企画

**問** 人口減少対策の成果と課題は。

**答** 人口面では、前月比で人口が増加している月があるなど、確実な成果が出ている。課題としては、若い世代の受け入れ



くずまき高原牧場内にある木質バイオマス発電施設

### バイオマス 農林 環境

**問** 木質バイオマス発電施設を活用する考えは。

**答** 木質バイオマス施設は17年に整備され、燃焼実証試験をし、21年に町に無償譲渡された。運転すると経費が約1700

### タクシー助成 健康 福祉

**問** 高齢者等外出支援事業の実績は。

**答** タクシー料金の一部を助成する事業で、申請者数280人に対して実

際の利用者数は170人。1回の平均助成額は1062円で、延べ利用回数は1202回。今後は対象者の拡充を検討していく。

### 廃プラ処理 農林 環境

**問** 農業用廃プラスチックの処理は。

**答** 回収は年4回行い、整理して業者に販売して

いる。野焼き処理の苦情は何件もあり、現場に行つて確認している。廃プラスチックの野焼きは法律で禁止されており、今後、注意喚起をしていきたい。

### 税金徴収率 住民 会計

**問** 今後の税金の徴収率向上対策は。

**答** 現年度分の徴収率は

## 特別一計

### 国保税徴収 国保 会計

**問** 国保税の滞納繰越分の徴収対策は。

**答** 国保税徴収の課題は、滞納繰越分の徴収率向上である。昨年度は県滞納整理機構と連携し、差し押さえや調査を行った結果、未収額を大きく減らすことができた。今後も継続的に滞納整理を進めていく。

### 賛成討論（要約）

高宮 一明 議員



29年度一般会計と特別会計の歳入歳出決算を認定することに賛成します。

「人口減少問題への対応」では、くずまき型DMOを中心とした町の魅力づくりや人材育成が図られたほか、6人の地域おこし協力隊員が各分野に着任し、町に新たな風が吹き込まれました。

「安心して子育てできる町づくり」では、第二子以降の保育料が無料化されたほか、高校生以下

の子どもの医療費無料化や予防接種助成事業の継続など、他の自治体と比較しても充実した子育て支援策を講じ、子どもを産み育てやすい環境整備に努めています。

「教育環境の充実」では、公営学習塾が開設され、葛巻高校の魅力がさらに高めたほか、山村留学制度の充実による生徒の確保にも尽力しました。

一般会計は、各種事業が効率的・効果的に執行されたことを評価します。

特別会計は、それぞれの予算の趣旨に沿った執行がされており、所期の目的を達成したと感じます。

### 反対討論なし



デントコーンのコンビラップ作業。使用後のラップフィルムは廃プラスチックとなります



9月定例会議で条例改正や財産取得、30年度補正予算などの審議が行われました。主な内容は次のとおりです。

条例改正

● 学校設置条例の改正  
吉ヶ沢小学校を31年4月1日から小屋瀬小学校に統合。

● 産直ハウスほすなある条例の改正  
現「産直ハウスほすな

財産取得

● 中型バスの購入  
◇ 契約額 1780万円  
◇ 納期 31年2月28日  
◇ 契約相手 岩手日野自

人事案件

● 教育委員の同意  
竹川高行さん（正路）を再任することに同意しました。任期は34年9月30日まで。

● 固定資産評価審査委員の同意  
漆真下孝幸さん（大沢）を再任することに同意しました。任期は33年9月30日まで。

● 人権擁護委員の推薦  
藤岡徹さん（新町）、荒谷光子さん（小田）を推薦することに決定しました。二人とも再任で、任期は33年9月30日まで。

意見書

● 核兵器禁止条約に署名・批准を求める意見書の提出  
継続審査となっていた岩手県原爆被害者団体協

陳情

● 吉ヶ沢自治会内「鈴野地区」における水道給水施設の整備についての陳情  
議会からの意見書提出の陳情について、審査の結果「採択」と決定し、内閣総理大臣などに意見書を提出しました。

● 吉ヶ沢自治会内「宇別地区」における水道給水施設の整備についての陳情  
継続審査となっていた吉ヶ沢自治会からの二つの陳情について、審査の結果「他の水道未整備地区の水道供給のあり方についても併せて検討されたい」との意見を付けて「採択」と決定し、町長に提出しました。

補正予算

一般会計に2億7977万円追加し、総額を69



改修中の「産直ハウスくずまき高原」

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計(第2号)	2億7977万円	69億4870万円
《主な予算の使いみち》		
■ 起債の繰り上げ返済(元金・利子相当分)	1億2181万円	
■ 新庁舎建設実施設計業務	1億260万円	
■ 清掃センター長寿命化修繕工事	1600万円	
■ 畜産競争力強化整備事業(牛舎等整備への補助)	1347万円	
国民健康保険事業(第1号)	6590万円	10億9371万円

億4870万円としました。支出では起債の繰り上げ返済に1億2181万円、新庁舎建設実施設計業務に1億260万円、清掃センター長寿命化修繕工事に1600万円などです。

● 地方交付税額の今後の見通しは。  
● 今年度の交付額は、普通交付税が対前年度で3300万円減となった。リーマン・ショック後に、景気対策のため交付額が増えていたが、徐々に景気が回復したことで減額となり、現在は20年頃の規模に戻った。今後も厳しい状況が続くと予想される。

【主な質疑】

産直食堂

農林環境

問 産直ハウスくずまき高原の食堂整備予定は。  
答 産直施設とは別に食堂を整備する。場所は公園側を想定しており、今年度は実施設計をするための調査を行う。

地方交付税

総務企画

議員の判断〈議決結果〉

○ 議員の判断で決定した議案

議案番号	件名と主要内容	議決結果	山崎邦廣	大平守	柴田勇雄	鈴木満	姉帯春治	山岸はる美	辰柳敬一	高宮一明	中崎和久
議案24号	30年度一般会計補正予算(第2号)・・・2億7977万円を追加して予算額69億4870万円に	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案25号	30年度国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第1号)・・・6590万円を追加して予算額10億9371万円に	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案26号	町立学校設置条例の改正・・・吉ヶ沢小学校を小屋瀬小学校に統合	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案27号	産直ハウスほすなある条例の改正・・・産直施設の名称変更など	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案28号	財産の取得の議決・・・中型バスを購入	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案29号	人権擁護委員の推薦・・・藤岡徹さん(新町)を推薦(再任)	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案30号	人権擁護委員の推薦・・・荒谷光子さん(小田)を推薦(再任)	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	-
認定3号	29年度一般会計決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	-
認定4号	29年度国民健康保険事業勘定特別会計決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	-
認定5号	29年度農業集落排水事業特別会計決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	-
認定6号	29年度後期高齢者医療事業特別会計決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	-
同意11号	教育委員の同意・・・竹川高行さん(正路)を再任することに同意	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	-
同意12号	固定資産評価審査委員の同意・・・漆真下孝幸さん(大沢)を再任することに同意	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	-
請願2号	日本政府がすみやかに核兵器禁止条約に署名し、国会が批准することを求める請願	採択	×	○	○	×	○	○	○	×	-
陳情8号	吉ヶ沢自治会内「鈴野地区」における水道給水施設の整備についての陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	-
陳情9号	吉ヶ沢自治会内「宇別地区」における水道給水施設の整備についての陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	-
発委2号	核兵器禁止条約に署名・批准を求める意見書の提出	可決	×	○	○	×	○	○	○	×	-

※ ○は原案に賛成。  
※ 議長は採決に加わりません。





やまざき くにひろ  
**山崎 邦廣** 議員

## 問 人口減少の課題克服策は

## 答 仕事・女性活躍・情報発信強化で

では、移住定住者に対するソフト事業の支援策

**議員** 人口減少へ対応する具体的成果を伺う。  
**町長** 人口減少対策については、町長就任以来町の最重要課題の一つとして取り組んできた。27年に「町人口ビジョン」「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定を受け、28年に人口減少対策をさらに前進させるため、移住定住対策の専任部署「いらっしやい葛巻推進室」を設置し、「観光交流」「商工業振興」と併せ一体的に取り組む体制を構築している。移住定住対策では、25年度から定住促進住宅や子育て支援住宅を整備し、現在11棟26世帯分の受け入れ環境を構築し、その入居率は常時8割程度で推移している。



くずまき観光地域づくり協議会総会の様子

各種奨励・助成事業でこの5年間に104件、約1700万円を交付した。町外からの移住件数は、3年間で52件となっている。商工・観光施策では、28年に「くずまき観光地域づくり協議会」を設立し、若者雇用創出の取り組みに29年度は述べ800人以上の方が参加している。こうした取り組みにより、昨年度、本町は県内

各町村では減少率の少ない方に位置付けられている。また、昨年11月末に前月比の人口が増に転じ、今年8月末も前月比増となった。今後は、継続的に増に転じていけるよう取り組みを進めていきたい。

### 取り組みの方向性

**議員** 今後の取り組みの考え方は。

**町長** 特に優先して解決すべき課題として「仕事の確保」「女性活躍の推進」「効果的な情報発信」を強化していく。仕事の求人と求職の効果的なマッチングや起業・継業の推進など関係部署間の連携をより強化する必要があると考えている。農林業の季節需要や臨時的業務などを切れ目なく行っていく「マルチワーキング」など新たな仕事のモデル作りの導入も検討していく。生き生きと活躍する女性の活動や自発的取り組みは、町全体の魅力や活力の向上につながっており、取り組みの支援を強化していく。町の取り組みが町民一人一人に、しっかりと伝わるよう「広報くずまき」や「くずまきテレビ」を効果的に活用した情報発信に取り組んでいく。

## ～ 今ここが聞きたい ～

9月11日に、2議員が一般質問を行いました。一般質問は、町の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針などを幅広い視点から報告や説明を求め質問します。議員の質問できる時間は、1時間以内です。議事録の内容は、町のホームページと議会事務局で閲覧ができます。

## 問 バイパスと国道の連絡道は

## 答 庁舎周辺と田ノ沢に設置予定



しばた いさお  
**柴田 勇雄** 議員

### 連絡道の設置

**議員** 町道茶屋場田子線と国道281号をつなぐ連絡道の設置は。

**町長** 連絡道は新庁舎建設後の庁舎周辺と、田ノ沢地区の消防葛巻分署移転後の敷地活用で2か所に設置する予定。

### 下町田子線の歩道

**議員** 役場裏から葛中入口交差点までの町道下町田子線への歩道整備の考えは。

**町長** 町道下町田子線は、整備中の茶屋場田子線と接続となり、完成後は交通量の増大が見込まれ、通学路・歩行者の安全確保を図る上から歩道整備したい。葛中入口交差点の改良を含め、国道管理者の県と協議を進める。

### 宝積寺線の整備

**議員** 町道宝積寺線入口

付近の整備促進は。  
**町長** 町道宝積寺線入口付近は、急勾配で道幅が狭く、国道への見通しが悪い現状。付近の民家が最近解体され、その用地を県が取得した。早期改良に向け、県に要望する。

### 城内小路の急カーブ

**議員** 城内小路地区急カーブ解消の見通しは。

**町長** 急カーブ解消については、これまでも重要



道幅が狭い町道宝積寺線の入口付近

事項として県に長年要望してきた経緯にある。28年度末に地権者・沿線住民を対象に説明会を開催し、路線改良調査の同意を得たと聞いている。現時点で県から実施計画が示されていないが、引き続き国・県に要望する。

### 流雪溝の段差解消

**議員** 町中心部流雪溝の

**町長** 町中心部の流雪溝

は、老朽化から鉄筋の露出や大きな段差が生じている。大規模改修は9月中旬以降工事発注との連絡を県から受けている。全面的な改修も含め継続要望していく。

### 障害者雇用の実態

**議員** 中央省庁などでは、障害者の水増し算定雇用が発覚しているが、町職員の障害者雇用の実態は。

**町長** 障害者の雇用を促進するため、法律で事業者に対し法定雇用率以上の障害者を雇用するよう義務付けており、従業員数が45人以上の事業所が対象となる。町職員は、町長部局で非常勤職員を含め116人在職。法定雇用率2.5%を乗じて得た数値は2.9人となる。小点数以下切り捨てとなり2人以上の障害者雇用が必要で、制度上クリアしている状況。



## くずまきの笑顔

## 五日市メッツスポーツ少年団の皆さん



五日市メッツスポーツ少年団（団員15人）は現在、五日市・葛巻・小屋瀬小学校の児童が加入し、活動しています。

今年は、三陸海岸学童軟式野球県大会に岩手北地区代表として初出場しました。

練習は、放課後に五日市小学校校庭で行っており、木下団長（五日市）、恵津森監督（五日市）の指導のもと元気に練習に励んでいます。



## 情報公開

議長が議会の対外的活動をするための経費が議長交際費です。各団体の総会、式典の会費が主なものです。

**7月 42,500円**（誠心会納涼夏祭りほか）

**8月 51,500円**（アットホームくずまき納涼夏祭りほか）

**9月 24,000円**（明神穴まつりほか）

次の定例会議は**12月7日(金)**です。

## 編集後記

西日本、そして北海道と大災害により被災された方々には心からお見舞い申し上げます。改めて何気ない毎日がありがたいことだと思ひ知らされました。一日も早い復興を望むものです。さて、暑すぎた夏はあったのかと思われるほど、朝夕の肌寒さが秋の到来を告げています。収穫を迎えられることに感謝と皆さんのご健康をお祈り申し上げます。

広報常任委員会

副委員長 山岸 はる美